

# 定期的な点検と整備で トラブルを未然に防止!!

## 日々ダメージを受けている駆動部・可動部・作動油

- ミキサー車は、毎日の生コンクリート攪拌輸送により高い負荷が掛っております。
  - 油圧機器には高い圧力の作動油が流れ、また駆動部には高荷重が常に掛っております。
  - 作動油・ギヤオイルは日々、劣化が進み精密部品・減速機等の焼付き・摩耗等の原因につながります。
  - 劣化した作動油・油圧ホースを使い続けたり、適切なグリスアップを怠ると生コンクリート運搬業務に支障が出るばかりか、生コンクリート排出不能等の重大な故障に至るケースもあります。
- 日常点検と定期点検整備でトラブルを未然に防止する事ができます。

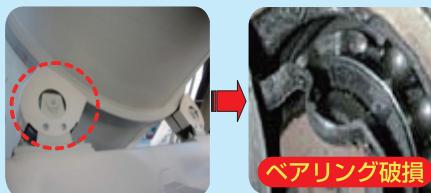


## 作動油・グリスアップ等のメンテナンスを怠ると!

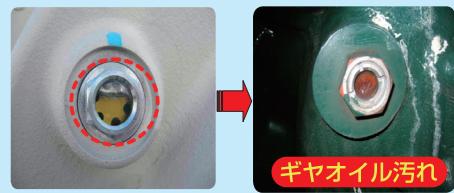
ポンプ駆動ドライブシャフト



ドラムガイドローラ



減速機ギヤオイル



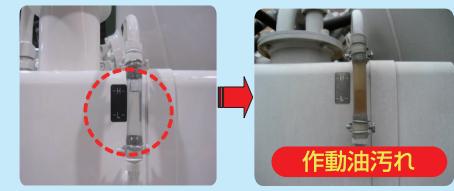
ドラム内ブレード



ドラム駆動減速機



オイルタンク・作動油



★劣化した作動油・ギヤオイルを使い続けると、精密部品であるプランジャー・ポンプ・油圧モータ・駆動減速機等の破損のトラブルに発展いたします。

★劣化した油圧ホースを使い続けると破損の原因となります。

★グリスアップを怠ると各駆動部（ガイドローラ等）のベアリング摩耗・破損の原因となります。

★ドラム内の生コンクリート付着、清掃を怠ると排出・攪拌性能を悪化させ、更にブレード等の腐食を早める原因になります。（生コンクリートの品質に影響を与える）

★作動油・ギヤオイルは汚れていませんか？直ぐに確認し交換を致しましょう!!



## 正しいメンテナンスで機械も体も健康体

# オイル・フィルタの『定期交換』なぜ必要か!!

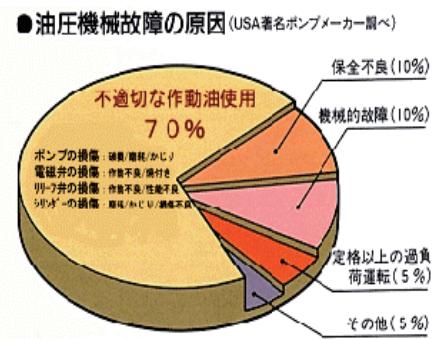
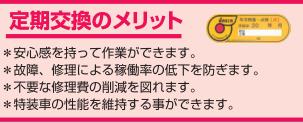
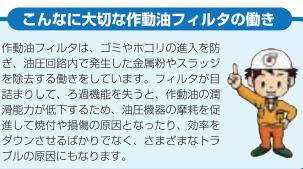
## 『作動油・ギヤオイル・フィルタ』の交換を怠ると

★高い圧力で流れる作動油・ギヤオイルは温度変化が著しく化学変化を起こし添加剤の消耗・酸化等により劣化が進みスラッジが形成されます。

また作動機構からの侵入した水分や鉄粉等により劣化した作動油・ギヤオイルは潤滑効果がなくなり精密機器・部品であるポンプ・モータ・減速機等の破損などのトラブルに発展いたします。

★オイルフィルタは作動機構・油圧回内部等で発生した金属粉やスラッジを除去する働きをしています。

フィルタが目詰まりすると、ろ過機能を失い作動油の潤滑能力が低下し油圧機器部の摩耗を促進し焼付・機能低下等のさまざまなトラブルの要因となります。



\*1 交換時期は、特装車により異なります。各架装メーカーの推奨時期により交換して下さい。

\*2 お客様のご使用状況により、交換時期が早まる場合があります。

\*3 定期交換は、専門的な技術と設備のある各メーカー指定のサービス工場でお受け致します。

## 『グリスアップ』は、なぜ必要か !!



### 【グリスアップ】を怠ると



★可動面に油膜が無くなり摩擦抵抗が高くなります。その為、可動面に傷が生じます。

特に荷重が掛る部分では固着(カジリ)現象が生じ最悪の場合は装置が動かず破損する事もあります。

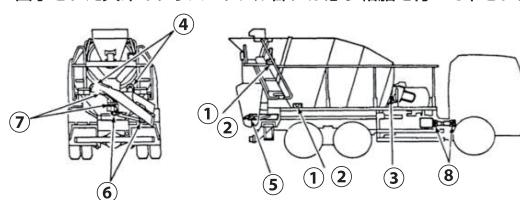
★可動面に油分(油膜)が無くなり、空気や水を遮断できず錆が発生し固着の原因となります。

### 保守点検項目と各部給脂箇所 (参考)



●給脂説明図 (参考例: 取扱説明書より)

図示された矢印のグリスニップル部には必ず給脂を行って下さい。



点検整備項目	日常点検	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月	備考
①コントロールリングケージ	○						シャシングリースまたはマシン油#120
②コントロールリングケージ	○						†
③ギヤカップリング			○				MOS2入りグリース
④ガイドローラ				○			E.Pグリース
⑤ショートキャッチ装置	○						シャシングリース
⑥ショートアジャスタ	○						†
⑦ショート駆回輪	○						MOS2入りグリース

グリスはメーカー推奨品を使用してください!



※給脂箇所は各メーカーの取扱説明書を参照願います。

点検箇所	点検内容	点検時期	不具合時の処置	結油・給脂時期
ドラム	真底部の油・ドラム内壁の油	●	再びままたは交換	1ヶ月に1回給脂
	生ゴム材の有無	●	再びままたは交換	
	ドラム内部	●	徐々	
	生ゴム材の有無	●	定期検査	
ショート回転部	真底部	●		
リモート・クラブベルト	ゆるみの有無	●		
フレーム	角柱・底板の有無	●		
ステップ	ボルト頭のゆるみ	●		
フェンダ				
サイドガード				
減速機	油漏れの有無	●	給付または交換	油の交換
	油量の確認	6ヶ月毎		初期は10000km走行または6ヶ月のどちらか早い時期、2500km以降は40000km走行または12年毎に交換
	油の汚れ	6ヶ月毎		
	エブリーザ交換			
駆動機	エブリーザの破損有無	●	給付または交換	1ヶ月に1回給脂
	ドライブシャフト・クラブベルト・ギヤベルト	●		
	クロスビーン	●		
	カタの有無	●		
操作機器	油漏れの有無	●	給付または交換	1ヶ月に1回給脂
	油量の確認	3ヶ月毎		20000km走行または1年毎に交換
	油の汚れ	3ヶ月毎		
	エブリーザ交換			
油圧油	油漏れの有無	●	油漏・修正・油の交換	1ヶ月に1回給脂
	油の有無	3ヶ月毎		20000km走行または1年毎にエブリーザ交換
	油の汚れ	3ヶ月毎		
	エブリーザ交換			
給水機器	水漏れの有無	●	給付または交換	1ヶ月に1回給脂
	水漏・修正	●		
	水漏れの有無	●	給付または交換	
	水漏・修正	●		
配管・ホース	水漏れの有無	●	ババ付給付または交換修正	
	水漏れの有無	●		
	水漏・修正	●		
	水漏れの有無	●		
水ポンプ	水漏れの有無	●	給付または交換	
	水漏れの有無	●		
	水漏・修正	●		
	水漏れの有無	●		
配管・コネクタ	水漏れの有無	●	交換または給付	

\*イミテーション部品を使用することは

性能が保証されないばかりか、故障の原因にもなります。

必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。



年次検査・点検時には必ず作動油・フィルタの定期交換をしましょう。

\*点検整備・部品交換は専門的な技術と設備のある各メーカー指定サービス工場でお受けいたします。